

今年の受信

今にも消防自動車が発射せうな、もうもうとした煙を出す自動車や、“今日の飛行機はいつまでも同じ處を旋回しているな”などと思わせるような擴聲装置が、まだ大きな顔をしている國ですから、まして並四、國二受信機が全体の9割を占めている、と言つても驚くほどのことはありません。

NHKの技術屋さんも、こういう懐古的な受信機に万遍なく電波を送り込もうというので、放送局の増設や擴張を實施中ですが、今時なかなか費用の嵩む仕事でしょう。

スーパーへ!! スーパーへ!! まるで唄の文句のように、口ぐせにハヤシ立てられたスーパーも、いざ蓋を開けてみるとあまりバツトしない賣行き。尤も僅か5球スーパー



〔左〕テレビアン RD-580 型

〔右〕戸根 A 501 型
〔中央〕シャープ PR 2 型ポータブルラジオ



台が壹萬円以上もするのがありますから、たださえキニクツな懐ろでは、何やら寶くじでも當らない限り、なかなか買求めるわけには行きません。ところで1950年の國產受信機はどんな型、どんな性能をもっているか、關東、關西各メーカーの1950年型をのぞいてみましょう。

標準型5球スーパー

BCバンドの5球スーパーは、御存じの通り全ラジオメーカーから發賣されています。ここには代表的なものの數種の寫眞を擧げて、今年の發展を祝福しましょう。

アリア DS-51 型 は第32頁配線圖のように6WC5-6D6-6ZDH3A-42-12K という配列でネガティブ・フィードバックをかけて音質の改善を計つています。12K (東芝製) は傍熱型の整流管で、特性は日本電氣の80BK とほとんど同じです。本機の發振コイルはオキサイドコアを使つた可變インダクタンス型で、IFコイルはツボ型を使つているのは從來と變つております。スイッチをPUに切換えると、ダイヤル面にPhonと美しい標示が出る機構になつています。

テレビアン RD-580 型 は12Kを80BKに變えたほかは前記アリアの5球と同じ球を使つています。スピーカーは6.5吋のエキサイト型(勵磁コイルの抵抗200

Ω)を使い、キャビネットをやや大きくして明朗な音と充分な音量を得るように作られ、受信周波數帯は550-1600KCとなつています。

さて話を關西方面に移してヘルメス59型を解説しましょう。本機の受信周波數帯は550-1600KCと幅を擴げ民間放送開始に備えた要領の良さ。使用真空管はアリアのDS-51と同じで、スピーカーはパーマネント型の6.5吋(出力トランス・インピーダンス1次7000Ω、2次4Ω)を使つております。

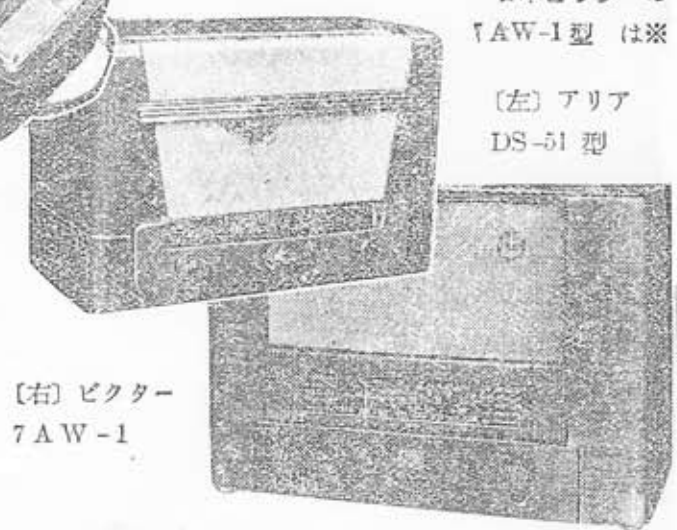
戸根無音 A-501 型 本機の使用球は6WC5-6D6-DH3A-6ZP1-12Kで、もち論PU端子付きです。6ZP1を使つてあるため音質の低下を防ぐ目的から、PUのSG電圧を規格通りに、別個のフィルターから得るようにし、またハムの減少を目的に30μFのケミコンがフィルターに使つてあります。

シャープ M 型 6WC5-6D6-DH3A-42-80 6半パーマネントという從來どおりの正攻法で組立てられた本機は寫眞のようなガツチリしたものです。受信周波數は555~1605KCと擴げられ、早くも民間放送開始に備えたのは、さすがに關西メーカーの要領の良さを現わしていきましょう。無歪出力2W(最大3W)消費電力60VAとなつています。

オール・ウエーブ

日本ビクターの7AW-1型(※)

〔左〕アリア DS-51 型



〔右〕ビクター 7AW-1

※6D6を非同調高周波増幅とした6D6-6WC5-6D6-DH3A-42-80、さらにマジックアイ6G5付きの7球式で、非同調にしたゲインの低下を、ピーキング・コイルによつて補つています。本機の周波數バンドは同社のARE-51型と同じ5バンドで、出力50mWを得るに要する入力高周波電圧は10μV以下です。

機界展望

ヘルメス 6A5 型 は 6WC5-6D6-D f3-42-80
スピーカーは DC 型の 6.5 吋という、2 バンドとしては
極めて普通の回路をとつた、いわば 2 バンド・スーパー
の普及型で受信バンドは BC と 6~18 MC です。

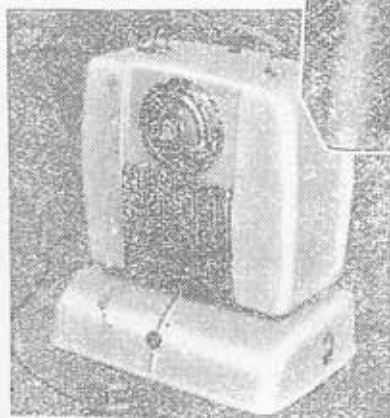
ナショナル 6A-4 型 本機は高周波一段に 6D6 を使
つたほかは、變周管以下前者と同じ球の配列です。もち論
PU 端子をつけ電蓄にはそのまま使用できるようにして
おり、BC バンドは 530~1605Kc、SW バンドは 6~18 M
c、無歪出力 2 W、スピーカーは AC 型 6.5 吋です。

コンソル型

日本ビクターのコンソル型電蓄 ARE-51 は、さきに
發賣された ARE-50 の改造型で 6WC5-6D6-DH3
A-76×2-42PP-80 という 8 球で、外觀もアメリカ風
のいわゆるクロード・パツフルで、PU はマグネチック
型を、SP は AC 型 10 吋を使つた非常に優美なもので
す。周波数バンドは、BC、4~9.5, 9.5~11.8, 11.8~15.2,
15.2~22 Mc の 5 バンドで短波帯は全部バンド・スプレ
ッドになつていますから、同調も樂にとれましょう。

本機は 50 μ V/m 以下の電波でも充分に
キャッチでき、無歪出力 6 W (最大 8 W)
電源電壓は 100 V 及び 85 V の二
タップで切換えられます。消費電力
は 120 V A です。

[下] パラゴン
ポータブル・ラジオ



[上] ナショナル
6A-4 型

[中央] アリア
DS-51 型の
シャーシ

ポータブル・ラジオ

ハイキングにビクニツクに野球に相撲にと、ポータブル、
ラジオのお供は、若い紳士淑女方には無くてはならないも
のになつてきました。それだけに、このラジオはスマート
な体裁が要求され、各社それぞれ鑄ぎを削つてデザインを
こらしています。

シャープ PR-2 型 は 4 球スーパーで単一号 1 個、
積層 67.5 V 1 個だけで聴取するようになっていす。回
路圖は第 32 頁に擧げましたから御覽下さい。本機の規格は
550~1500 KC が受信範囲で A V C 附です。球は 1R5-
1 T4-1 S5-3 S4 出力は 100 m W。スピーカーはシャ
ープの 2 吋半のパーマネント型が使われており、聴取
するときには本機の蓋をあけるとドア・スイッチが入
り、自動的に鳴り出す仕組みです。

パラゴン・ポータブル・ラジオ あまり耳にしなかつたメ
ーカーだけに全国のラジオ・ファンにはまだ知られていま
せんが、ポータブル・ラジオはなかなかの研究熱心が物を
いつて、最近では
相當優良な品物を
出しています。*

[左] ビクター
ARE-51 型



[右] ダイアトーン M 型

* 4 球乾電池専用、
5 球 (1R5-1 T4-
1 T4-1 S5-3 S4)

など寫眞の通り優美なものです。特にこの
セットのダイヤルは寫眞の円く黒くなつて見えるの
が真調用で、その外側に白く光つて見えるリングが音量
調節用及び電源スイッチで、スイッチはパチンと入るよ
うなヤボ臭いものでなく、いともスムーズに何の段階も
無く軽く回すだけで受信できるようになつており、これ
がパラゴンの特許になつています。

また寫眞に見るセットの台は 2 ウエイ用の電源部で、
セットの裏の四つの足と台上の受足とを合せて乗せれば、
そのまま電燈線から聴取もでき、その上乾電池にショック
を興えて長持ちをさせようというモダンなアイデアで、
このセット一台で家庭用にもポータブル用にも兼用させ得
る点で、今後の發展が期待されます。

不況續きでスツカリしよげていたラジオ・メーカーに、
再び春風タイ蕩、左うちわの時代が巡つて来るか? それ
は一つにラジオ・メーカーの努力にかかつておりましょ
う。近くテレビジョン・セットの試作研究も本格的にしな
なければならないメーカーだけに、ラジオ・セットの賣行き
は今後の技術面に及ぼす影響は大きなものでしょう。メ
ーカーに代つて「よろしく、どうぞ」と筆者も一言附加えて
1950 年のラジオ界の發展を期しましょう。